

5人の市議団で実現にがんばります

- 原発の安全基準を見直し、太陽光・間伐材を利用した自然エネルギーの促進を
- 学校の耐震化促進、借家・マンションなどの集合住宅の耐震化への補助拡充
- 水道料金の再値下げ
- 敬老パスを継続し、さらに便利な市バスへ
- 子どもの医療費助成制度（現在は就学前まで）は段階的に義務教育終了まで助成を拡大
- 小学校警備員の配置継続を
- 小学校1・2年生の35人学級を6年生まで拡大
- 中学校給食を市直営で
- 国民健康保険の医療費負担のさらなる軽減策を

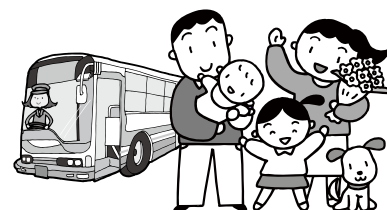
市バス・地域巡回バスで空白地域をなくす努力を

市バス路線の延伸を

この4年間だけでも、民間バスが撤退した路線など3路線で延伸しています。

市民の要望でバス停や便数も増えました。市バスだからこそできることです。民間では、採算が合わなければすぐに撤退します。

これからも市バスを守り、バス停まで遠い地域や病院に行くのに不便な地域などでは巡回バスを走らせること。また、上牧など市バスが走っていない地域に市バスを走らせるためにがんばります。



自然エネルギー利用促進を!!

福島原発事故は深刻です。福井県では2004年に運転中の原発で、国内初の配管破裂により、蒸気が吹き出す事故で、5人の死亡事故が起こっています。福井原発の総点検が必要です。

原発への依存をやめ、太陽光や風力発電など自然エネルギー利用を計画的に増やすことも大事です。日本共産党は、10年前に家庭への太陽光発電への補助制度を市独自に実施することを求め、2007年に実現しました。

また、今年3月から高槻市では間伐材を利用したバイオコークス（燃料）が製品化されています。日本共産党はさらに、高槻市の環境を生かした自然エネルギーの利用を促進します。



「市民の役に立つ市役所に」

日本共産党は、高齢者世帯への実態調査をし、介護保険や見守りが必要な世帯を把握し、地域包括センターとも協力して支援をしていくことを求めてきました。個々の状況に応じた支援など日常的にサービスが行きとどく市政が必要です。



河村たかし氏の名前を無断使用 吉田康人氏のポスター

「減税日本」のホームページには、減税日本及び河村たかしの写真、名前の無断使用が増えているとし、注意しても改善してもらえない。応援もいっさいしていないと「吉田康人氏のポスター」が公表されています。

